

増田篤夫 （録） 文藝評論家。明治二十四年四月九日滋賀縣生れ。昭和十一年一月二十六日歿（二八九一—一九三六）。筆名増田あつと、増田冬木、増田源々、増田篤雄、増田紅風。大正二年早稻田大學文學部英文科中退。在學中親友（二富朽葉等）と雜誌『白夜』を發刊、また朽葉、田代倫と薄命文士會（願）を創す。初の小説を發表し、のち『解放』、『新潮』等ハ作家的論執筆。

著譯書『ゆるり』（公著・親徳文藝會編、大正十二年十一月二十五日改造社）、『二富朽葉詩集』（編、大正十五年十月十五日第一書房）、『アンドレ・ジイド著』『思索と隨想』（共譯、昭和八年十一月十七日小山書店）、『バンジャマン・テレミウ著』『不安と再建』（増田篤雄名、昭和十年一月十五日、再刊、二十六年二月二十八日小山書店）等。

